

第120期 報告書

平成29年4月 1 日から
平成30年3月31日まで



日本甜菜製糖株式会社

証券コード：2108

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は去る3月31日をもって第120期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここにその事業の概況等をご報告申し上げます。

平成30年6月

取締役社長 **恵本 司**



当連結会計年度のわが国経済は、雇用環境・人件費高騰を背景に、個人消費も緩やかに持ち直しており、企業収益も改善傾向で推移しております。

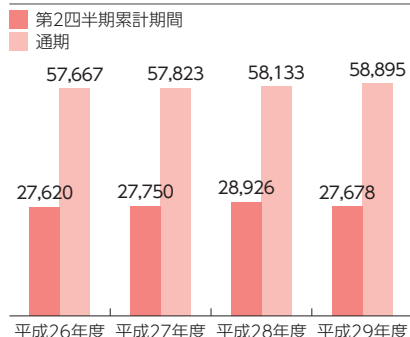
一方、海外環境ではアメリカやユーロ圏の景気が回復しておりますが、イギリスのEU離脱や国際情勢の緊迫化など不安定要素が増加しており、先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好や、安価

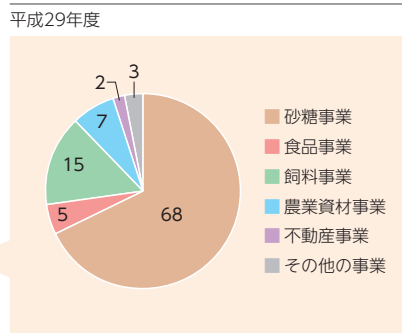
な輸入加糖調製品、異性化糖および高甘味度人工甘味料の影響を受け砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

当連結会計年度の売上高は、前期比1.3%増の588億9千5百万円となりましたが、経常利益は、砂糖事業の売上原価の増加により、前期比21.2%減の19億8千3百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比19.2%減の12億2千3百万円となりました。

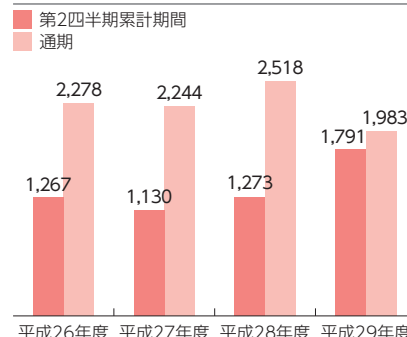
売上高 (百万円)



売上高構成比 (%)



経常利益 (百万円)



砂糖業界を取り巻く情勢に関しましては、以下のとおりであります。

平成30年3月に農林水産省が公表した「砂糖及び異性化糖の需給見通し」は、平成29年10月から平成30年9月までの1年間の分蜜糖消費量を190万トンと見込み、前年同時期の消費見込から2万3千トン減少しております。

また、粗糖の国際相場は、ブラジルの生産量がやや減少見込みであるもののインド、EU、中国、タイ等の生産上位国はいずれも増産見込みであり、生産量が消費量を上回る予想から下降傾向が続いており、販売環境は大変厳しい状況が続いております。

平成29年産の原料甜菜による製糖作業は、10月中旬より開始いたしました。昨年の北海道の天候は、春先には好天に恵まれ、甜菜の生育が順調に推移しましたが、5月下旬から6月は雨量が多く、7月上旬の猛暑や8月の寡照、9月の台風による降雨など不安定な時期もありました。しかし、気候は総じて冷涼に推移し、圃場は乾燥傾向となっていたことから、病害虫の被害が少なく、高品質な原料を確保することができ、製糖作業は順調に推移しました。

国際情勢に関しましては、TPPは平成29年1月に米国が

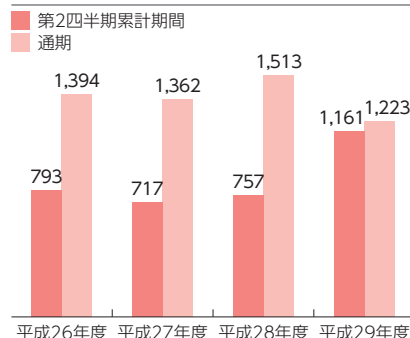
離脱を表明し、発効の目途が立たなくなりましたが、米国を除く11ヶ国は新たな協定「TPP11」の早期発効を目指し、平成29年11月11日に大筋合意、平成30年3月8日には署名が行われ、早ければ年内に発効される状況になっております。

一方、日EUのEPAは、平成29年7月6日に大枠合意、同年12月8日に交渉妥結になりましたが、発効までにはまだ時間がかかる見通しです。政府はこれらのルールが発効しても糖価調整制度は維持されるとしており、対策としては加糖調製品から調整金を徴収することになっております。今後とも、これら貿易ルールによりどのような影響が発生するか情報分析を行い、必要な対策を検討してまいります。

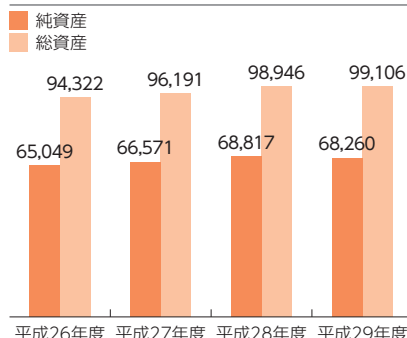
当社グループといたしましては、砂糖をはじめ各製品において、引き続きコスト削減を徹底するとともに、適正価格での販売に努め、収益力の確保、経営基盤の安定化を図ってまいります。

また、品質管理を徹底し、安全性および品質の更なる向上を図り、皆様に信頼される製品の提供に心がけてまいります。

親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (百万円)



純資産/総資産 (百万円)



甜菜から砂糖を抽出したあとの繊維分はビートパルプとして家畜の飼料に使われています。また、甜菜にはラフィノース(オリゴ糖の一種)やベタイン(アミノ酸の一種)などの有用物質も含まれています。

セグメント別の概況

砂糖事業

事業内容

ビート糖、精糖、
ビート糖蜜、精糖蜜 等



■ ビート糖

甜菜を原料とした国産の砂糖です。

■ スティックシュガー

海外市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初16.54セントで始まり、6月にはインド、タイ、欧州等の砂糖生産量の増加見込や世界市場の3年ぶりの供給過剰見通しに加え、世界最大生産国ブラジルの順調なサトウキビ圧搾作業等を受け、12.55セントまで下落しました。その後、11月にはブラジルでの砂糖生産からエタノール生産への割合の高まりやレアル高の進行等から15.45セントまで上昇しましたが、インドの生産見込の引き上げおよび世界市場の供給過剰が次年度も続くとの見方も加わり、12.35セントで当期を終えました。

一方、国内市況につきましては、期初195円～196円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まり、海外相場の変動を受け7月には6円下落し189円～190円となり、そのまま当期を終えました。

ビート糖は、平成29年産糖の生産が増加し、売上高は前期を上回りましたが、増産となるビート糖は制度上一般向け販売とはならず、採算的に厳しい原料糖となるため、当期末在庫にかかるたな卸資産評価損を計上しております。

精糖は、業務用、家庭用小袋とも消費減退の影響により低調な荷動きとなり、販売量、売上高とも前期を下回りました。

砂糖事業の売上高は、399億4千5百万円(前期比1.2%減)となりましたが、国内砂糖市況の下落に伴う販売価格の低迷と、ビート糖のたな卸資産評価損の影響が大きく、4億7千6百万円の営業損失(前期は5億1千8百万円の営業利益)となりました。

食品事業

事業内容

イースト、オリゴ糖等機能性食品
(ラフィノース、ベタイン、DFAⅢ 等)、
その他食品



■ とちの酵母

北海道十勝産のインスタントドライイーストです。

■ ビートオリゴ

甜菜から抽出した天然のオリゴ糖です。

イーストは、ほぼ前期並の売上高となりました。

オリゴ糖等機能性食品は、オリゴ糖等の販売量が増加し、売上高は前期を上回りました。

食品事業の売上高は、27億2千8百万円(前期比2.2%増)となりましたが、燃料費の高騰や新規設備投資に伴う償却費の増加等もあり、営業利益は1億7百万円(前期比61.7%減)となりました。

飼料事業

事業内容 | 配合飼料、
ビートパルプ 等



■ 配合飼料
国産のビートパルプを配合
した牛用の飼料です。

配合飼料は、販売量の増加と販売価格の上昇により、売上高は前期を上回りました。
ビートパルプは、生産量増と国産品への強い需要により販売量が増加し、売上、利益とも前期を上回りました。
飼料事業の売上高は、89億7千7百万円(前期比9.2%増)となり、営業利益は6億6千4百万円(前期比392.1%増)となりました。

農業資材事業

事業内容 | 紙筒(ペーパーポット®)、農業機材、調整泥炭、
甜菜種子 等



■ 紙筒(ペーパーポット)
当社が開発した紙製の育苗鉢です。
効率的な苗作り、移植栽培に役立ちます。

紙筒(移植栽培用育苗鉢 商標名ペーパーポット)は、主にそ菜用の販売量の増加により、売上高は前期を上回りました。
農業機材は、そ菜用の移植機材・播種機材の販売の増加により、売上高は前期を上回りました。
農業資材事業の売上高は、43億2千4百万円(前期比4.3%増)となり、営業利益は3億5千2百万円(前期比17.0%増)となりました。

不動産事業

事業内容 | 不動産賃貸 等



■ ニッテン神田ビル
平成29年11月取得

不動産事業は、新規物件もあり売上高は前期を上回りましたが、初期投資に掛かる費用の増加により営業利益は前期を下回りました。
不動産事業の売上高は、14億2千8百万円(前期比5.7%増)となり、営業利益は8億2千3百万円(前期比3.5%減)となりました。

その他の事業

事業内容 | 貨物輸送、石油類販売、
書籍販売、スポーツ施設営業 等



■ ロードクラフト
(スズラン企業株式会社)

その他の事業は、原料甜菜増加に伴う、石油類の販売量の増加と、貨物輸送の増加等により売上、利益とも増加しました。
その他の事業の売上高は14億9千1百万円(前期比14.0%増)となり、営業利益は1億2千3百万円(前期比119.7%増)となりました。

財務情報

連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

	当期末 平成30年3月31日現在	前期末 平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	46,663	47,870
固定資産	52,442	51,075
有形固定資産	25,340	22,744
無形固定資産	271	113
投資その他の資産	26,830	28,217
資産合計	99,106	98,946
負債の部		
流動負債	18,348	17,039
固定負債	12,496	13,089
負債合計	30,845	30,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,409	8,404
利益剰余金	41,908	41,392
自己株式	△2,421	△2,455
株主資本合計	56,176	55,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,870	13,085
繰延ヘッジ損益	△0	△1
退職給付に係る調整累計額	214	112
その他の包括利益累計額合計	12,084	13,196
純資産合計	68,260	68,817
負債純資産合計	99,106	98,946

連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

	当期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	前期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	58,895	58,133
売上原価	43,889	41,948
販売費及び一般管理費	13,422	14,005
営業利益	1,584	2,178
営業外収益	637	594
営業外費用	237	255
経常利益	1,983	2,518
特別利益	9	155
特別損失	207	479
税金等調整前当期純利益	1,786	2,194
法人税等	562	680
当期純利益	1,223	1,513
親会社株主に帰属する当期純利益	1,223	1,513

設備投資の状況

当連結会計年度中に実施した設備投資の総額は5,314百万円であります。

会社概要・株式情報

(平成30年3月31日現在)

会社概要

商 号	日本甜菜製糖株式会社	
本社所在地	東京都港区三田三丁目12番14号	
設 立	大正8年6月	
資 本 金	82億7,941万4,800円	
従業員の状況	企業集団の従業員数 当社の従業員数	695名 564名 ※上記には臨時従業員は含まれておりません。
子 会 社	名 称	事業内容
	十勝鉄道株式会社	貨物自動車運送業
	スズラン企業株式会社	石油類・書籍販売およびスポーツ施設営業等
	ニッテン商事株式会社	食品卸売業
	サークル機工株式会社	農業用機械器具の製造販売
	土別スズランファーム株式会社	農業生産法人

役員

(平成30年6月28日現在)

代 表 取 締 役 会 長	中村 憲治
代 表 取 締 役 社 長	恵本 司
常 務 取 締 役	佐藤 和彦
常 務 取 締 役	鈴木 良幸
取 締 役	佐渡谷 裕朗
取 締 役	八巻 唯史
取 締 役	木山 邦樹
取 締 役	前田 孝幸
取 締 役	石栗 秀
取 締 役	小島 洋司
取 締 役	寺澤 秀和
取 締 役 (社 外)	浅羽 茂
常 勤 監 査 役	森山 英二
常 勤 監 査 役	沖 有康
監 査 役 (社 外)	二村 孝文
監 査 役 (社 外)	村山 泰之

株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	15,325,642株
株 主 数	12,079名

大株主

株主名	持株数	持株比率
明治ホールディングス株式会社	1,470千株	10.37%
ニッテン共栄会	844	5.95
株式会社みずほ銀行	705	4.97
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	580	4.09
農林中央金庫	514	3.63
東京海上日動火災保険株式会社	428	3.02
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	395	2.79
日本通運株式会社	320	2.26
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	271	1.91
三菱商事株式会社	265	1.87

(注) 1.当社は自己株式1,144,224株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。
2.持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬
基 準 日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.nitten.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
単 元 株 式 数	100株
株 主 名 簿 管 理 人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711〔 通話料 無料〕

株式等に関するマイナンバーお届出のご案内

○株式等の税務関係の手続きに関しましては、マイナンバーのお届出が必要です。

お届出をされていない株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

マイナンバーを記載する主な支払調書

- ・ 配当金等に関する支払調書
- ・ 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届けに関するお問い合わせは下記の＜株式に関するお問い合わせ先＞にお問い合わせください。

＜株式に関するお問い合わせ先＞

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合 ➡ お取引の証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない ➡ 三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)に
(特別口座に記録された)場合 お問い合わせください。

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 [通話料
無 料]

◆特別口座では、単元株の売買ができないなど、お取引に一定の制限があります。株式を特別口座から証券会社等に開設された株主様の口座へ振替えされること(口座振替)をおすすめします。お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

※配当金の受取方法については「ゆうちょ領収書払い」以外に銀行または証券会社の口座で受け取る「口座受取り」もご利用できます。
配当金のお振込みに関するご相談は＜株式に関するお問い合わせ先＞にお問い合わせください。

日本甜菜製糖株式会社

ホームページ <http://www.nitten.co.jp>

